

生徒たちも臨機応変に対 たが、ツネイシしまなみビ に頑張れる人たちです」お 収穫となりました。 とは、生徒にとって大きな 応し、研修が実施できたこ のご協力のもと、74回生の レッジのスタッフの皆様 \mathcal{O} した。二日目は、あいにく 褒めの言葉をいただきま 励ましていただいたうえ、 生活に生かしてほしい」と た。しかし、「でも楽しか は?」という問いかけに多 方からの「しんどかった人 ッター訓練では、指導員 も多くの生徒が手を挙げ、 った人は?」という問いに くの生徒が手を上げまし 「この思いを今後の学校 雨で計画を変更しまし 一龍野高校の生徒は、本当 お

習慣研修」です。 天候にも恵まれ、

一日目は、

予定通り

研

修を実施しました。

力

これからの高校生活に

ト」「集団行動研修」「学習

訓

[練研修] 「校歌コンテス

活動研修内容は、「カッター え、成長する場です。主な に当たり、自らと集団を鍛

ものも出ましたが、 式では遅刻で指導される 残念ながら体調不良で 名が不参加となり、出発 その 思 サ



を感じられる野外活動 表情から、生徒たちの成長 での生徒たちの充実した り組んでいました。帰着式 中力を持続させ、 学習習慣研修では、 とした行動ができました。 ŧ ストでは、短時間の練習に たと感じます。校歌コンテ あ 大きな声を出しキビキビ 0 どころか、 0 した。集団行動研修では、 していることも多く、 研修 ったと実感しました。 モニーを響かせてい かかわらず、心地よい 成長を示すものであ は、 10分前には完了 10分前行動 課題に取 高い集

山市)

で野外活動を行い

まなみビレッジ

(広島県福

(74 回生)

は、ツネイシし

水

の2日間、

第1学年

4

月

23

日

(火) ・

24

日

74

回生

野高校生としての基礎を築

学校生活を充実させる

した。この野外活動は、

龍 ま

になった方々に感謝を忘 につなげていけるように、 取り組みのなかで、 学んだ経験をどう活かし ていくかが大切です。 います。 ポートしてい ず、「人としての成長」 いて、今回の野外活動で きたいと お世話 その る 5 重 \mathcal{O}

(学年主任 山 男

務 Tel:(0791) 62-0886



思います。提言を受けたあ チームによる高校改革の た。この5月号が発行さ ŋ が予想されます。 細分化が進んでいくこと 的に議論をして、普通科の と、中央教育審議会で具体 提言が発表されていると 生実行会議と自民党特命 れる頃には、政府の教育再 「サイエンスを重視する」 地域人材育成を目指す」 5 新元号の年を迎えまし 月から令 和元年とな 例えば

くことになるようです。私 する」ことも今後ますます たち龍野高校も、これまで し、普通科を細分化してい など特色に応じて類型化 要に 伝統とSSHの取組 「サイエンスを重視す ということは明確で なってくることと 「国際化を推進 か

新年度をむかえて

齌

藤

勝

ます。 が知恵を出し合い、これま とを念頭に、今こそ教職員 ならないと強く思って るように「持続可能な 会というキーワー を考えた時、持続可能な社 ればなりません。地球環境 したものにしていかなけ 査し、より生徒の実態に即 らないと感じています。 を進めていかなければ での取組を整理し、 ランスよく学ぶというこ 思われます。 育」を考えていかなけれ 個々の具体的な取組も マや方向性を決めつつ、 文系理系を - ドがあ 特色化 テ

運動部、 いきたいと考えています。 としての魅力も広報して 武両道が実践できる高 してくださいますよう 今後とも龍野高校を応援 い成果をあげています。 に出場したりと目覚まし 会に出場したり、近畿大会 また、 申し上げます。 学芸部とも全国大 部活動にお いても 文

交通安全講話

通安全講 4 月 25 話 日 を実施 木 しま に、 交

どの講義を受けました。 所における通行の仕方 意しなければならない ものを使いながら、特に注 校風景を実際に撮影した 学の生徒が大半を占め います。龍野高校生の登下 自転車も軽車両だとい 覚を持ち、自分が被害 野高校生は、 場 Ź

いくきっかけとなりまし 校をよりよいものにして での乗車マナーについて との大切さを学びました。 ければならないというこ 避できる危険は回避し いよう、危険を予測して回 者にも加害者にもならな う自 も見直し、自分たちの登下 なく、徒歩、バスや電車内 自転車通学生だけでは な



72 回生からの報告

ざし」を高く持ち続けるた えています。 ました。これは、学年通信 女子 めに不可欠なことだと考 のタイトルである「こころ の決別」の一文を付け加え き合い、乗り越える力」で を通しての学年目標は「向 学年を迎えました。 3年間 72 今年度はこれに、「明 127名の計30名で最終 回 弱き自己と 男 子 179

生は選択だ」と考えていま 多くの生徒にとって、長い らこそ、力を尽くそうと努 す。自分が選んだことだか 大きな選択の時です。「人 人生の中で最初に迎える ントは「進路実現」です。 っても3年生の一大イ 行事はありますが、何と 昇龍祭や体育大会など

> す。 ことを通して「合格まで ん。 越えなければなりま っかりと向き合い、乗り 段です。だからこそ、 ると同時に、将来への手 路」は、現在の目標であ らです。「高校の次の進 ークはもっと先にあるか す。なぜなら、人生のピ しいと強く願っていま てからの人」になってほ の人」ではなく、「合格し ものに正面から向き合う ŋ 力を養う絶好の機会で そしてこの1年は、その をつけることなのです。 せず、自分の人生その しんどいからと先送 し せ

> > 例年通りの三部構成で

す。さあ、前進あるのみ! を全力でサポートしま 龍野高校の全職員がそれ す。学年団だけでなく、 取り組みができる集団で 72 回生は、そういった (学年主任 山村竜也

第 42 回定期演奏会

サート」を開催できたこ 期 今年も無事吹奏楽部の定 皆様にご来場いただき、 とを感謝いたします \mathcal{O} (演奏会「ふれあいコン 天候でしたが、 -連休の 中、 あいにく 沢山の

取り組んできました。 \mathcal{O} や課題曲、そして「青銅 など吹奏楽で定番の楽曲 前年よりより良いものに り、工夫を凝らしながら、 分達で選曲や演出にあた しようという意気込みで したが、毎年生徒達が自 騎士」のような大曲に 第一部では「たなばた」

演技、 きたと思います。 した。今年の第三部は、 者、奏者共に熱の入った などのスタンダードナン いただき楽しめ演出がで 女と野獣」を上演し、演 プや「Sing Sing Sing」 「イントロクイズ」を実 第二部では音楽劇「美 お客様も参加して 演奏を繰り広げま Jーポッ

かし、大切なことはその甘 ない」とよく言います。

くない人生に向き合う力

できない厳しさがありま

す。そこには何の言い訳も 力できるのだと思うので

す。「人生は甘いものでは

んだ楽曲をお送りしまし バ 華を添えていました。 た。また、三年生や新入生 によるダンスや歌なども ーも取り入れ、変化に富

ちで企画から実施するま た二年生もその姿を見て いきます。 次年度に向けて成長して での力をつけてきます。ま してきた三年生は、自分た ることで、約二年前に入部

継がれていくはずです。 する姿はこらからも受け 活動を通して学生が成長 代が始まりますが、クラブ 演奏会をはじめとして、 最後になりましたが、こ 元号は変わり、新たな時

りますことに深く感謝し、 吹奏楽部の諸活動にご理 御 解とご支援いただいてお \mathcal{O} (吹奏楽部顧問 礼を申し上げます。 田村善郎

挑戦しました。



15

月 行 事 予

定

日 主

創立記念日

更衣

この演奏会を目標にす

日(土)~2日(日) 進研マーク (3年)

日 (水)

キャンパスカウンセラー来校

6 日 (木)

耳鼻科検診 (2・3年)

10

日 (月) 育友会総会・学年懇談会

11 日 (火)

課題研究英語発表会 サイエンス∬目 (2·3年科学科)

バザーチケット販売(1年)

12 日 (水)

日 (木) バザーチケット販売(3年)

13

バザーチケット販売(2年) 耳鼻科検診 (1・2年)

日 (金)

日 (土) キャンパスカウンセラー来校

GTEC受験(3年希望者)

16

月 (日)

昇龍祭ステージ発表 リハーサル

19 日 (水)

20 日 (木)

昇龍祭

(午後)

21日

昇龍祭 金) (全日)

(月)

心肺蘇生法講習会(生徒会)

サイエンス校外実習I

1年科学科

24

日

26 目

キャンパスカウンセラー来校

27 日 (木)

台湾研修保護者説明会

全校集会 (7限)

日 (木) ~7月2日 ローズベルト高校生来校 \pm 火

27

29

土曜サポート講座 (1・2年)

